

平成21年度 文化財総合的把握モデル事業中間報告会

高岡市文化財総合的把握モデル事業概要



瑞龍寺(国宝)

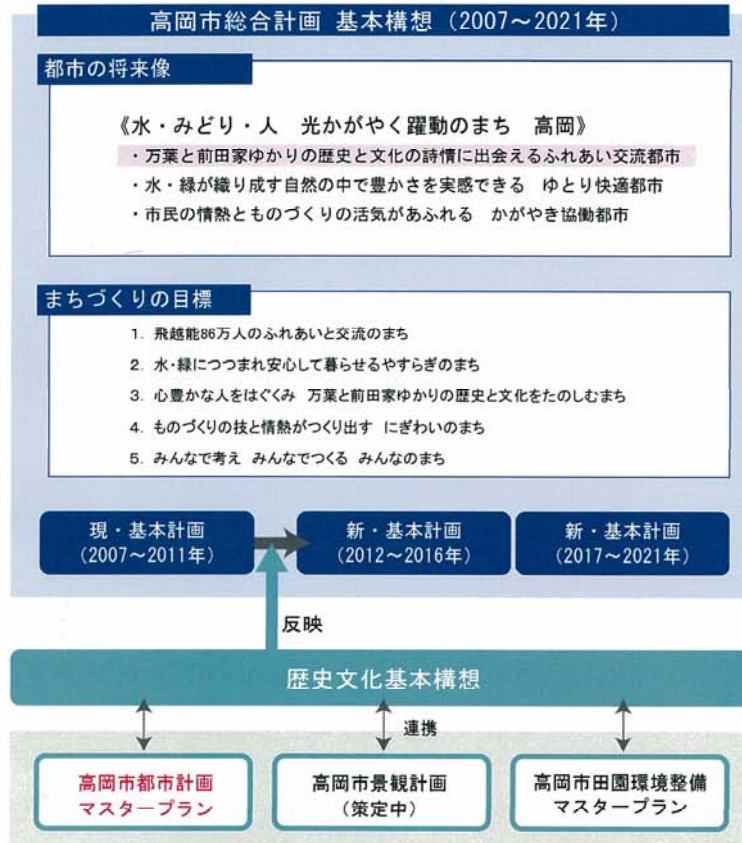


高岡御車山

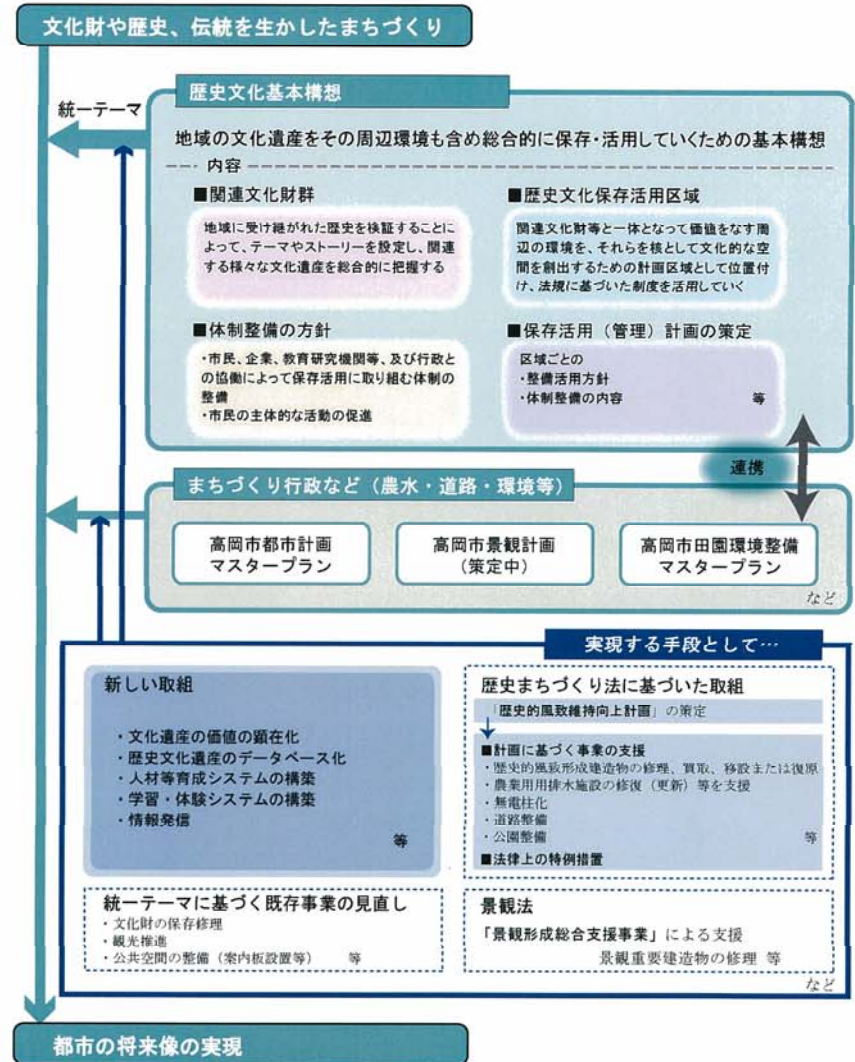
(重要有形・無形民俗文化財)

高岡市教育委員会

1 歴史文化基本構想の位置付け



2 歴史文化基本構想運用のイメージ (高岡市)



平成20年度「高岡市文化財総合的把握モデル事業」の取組み内容

1 事業実施内容

(1) 歴史文化基本構想等策定委員会の実施

①委員構成 専門家(建築、都市計画、歴史等)、行政、住民、事業者 等

②開催実績 ○第1回歴史文化基本構想等策定委員会

内容:「高岡市文化財総合的把握モデル事業」の概要報告

市内の指定文化財・調査済み文化財の状況報告

平成20年度 市内文化財悉皆調査方針の検討

市民説明の実施方針の検討

○第2回歴史文化基本構想等策定委員会

内容:平成20年度市内文化財悉皆調査の成果報告

市民説明の実施結果報告

平成21年度市内文化財悉皆調査の方針の検討

歴史文化基本構想の枠組みに関する検討

(2) 市内文化財悉皆調査(別紙参照)

(3) 市民説明の実施 ①市広報

②チラシの配布

③希望者への出前講座の実施

(4) 関係部署との連携 ①事業計画作成に係る協議

②委員会への参加

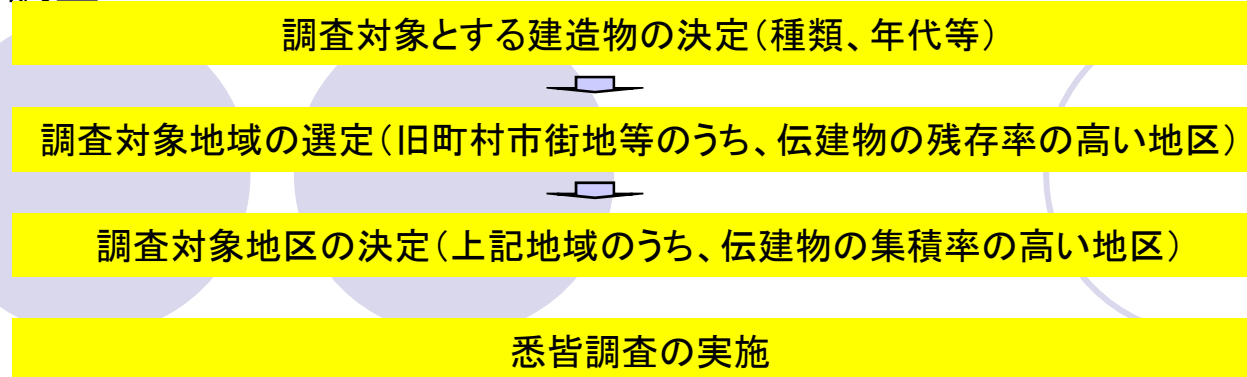
③歴史的風致維持向上計画、景観計画等、関連計画との整合性に
係る協議の実施

④保存・活用計画作成に係るワーキングの実施(予定) 等

2 平成20年度市内文化財悉皆調査の実績

- (1) 調査区域 市内全域(209km²)
- (2) 調査対象 建造物、伝統的建造物群(20年度)
- (3) 調査時期 平成20年10月31日 ~ 平成21年3月31日
- (4) 調査内容 市内に存在する伝統的建造物を町家や山村等タイプ別に分類し、それぞれ伝統的建造物の集積度の高い地区について悉皆調査を実施した。また、これまでに行われてきた調査の第一次調査物件について残存状況等の調査を実施した。

調査フロー



- (5) 調査成果
 - ①新たに町家約950件を把握。
(中心市街地の一部については調査中)
 - ②伝建物の集積度の高い地区として、新たに11箇所を把握。

事業実施における工夫・問題点等

1 文化財の悉皆調査について

- ・文化財個々の価値を深く把握することよりも、より広く文化財を把握することを目的に実施。
- ・抽出した文化財について、歴史的関連性や地理的関連性を把握。

◎問題点 美術工芸品や民俗文化財、無形文化財の悉皆調査について、調査範囲が広範な中で、調査対象物件の抽出に苦慮している。

2 関連他部局との連携について

- ・都市計画マスタープランや景観計画などの関連計画との整合性を図っている。
- ・保存・活用方針や事業計画の検討機関として、関連課によるワーキングを設置予定。

◎問題点 これまで、まちづくりの観点から文化財課がイニシアチブを取ることが少なかったため、関連他部局との調整に苦慮している。

3 委員からの主な指摘事項

- ・調査においては、道路や町割など都市の構成・文脈がわかるものも調査が必要。

◎解決方策 古写真や絵図などについても、市民へ広く呼びかけるなど、収集調査を実施

- ・構想の策定段階から市民を巻き込むなど、人を育てることが大切である。

◎解決方策 広報物等をとおして、文化財の情報提供や構想策定への意見提案をお願いした。

構想では市民が主体的に取り組むための体制づくりや人材育成方を提案する。

- ・今回調査を実施した文化財については、データベース化することが望ましい。

◎既往調査で把握している文化財も含め、随時更新可能なデータベースとすることを検討。